

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課	12環境対策課
-----	---------

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	7153	事務事業コード	1206
事務事業名	環境教育・環境学習推進事業			開始年度	平成17	終了年度	未定	
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	環境基本法		例規等	佐渡市環境基本条例 佐渡市環境基本計画		
将来ビジョン	5. 佐渡活性化のための人材の育成・確保 (1)次世代を担う人材育成					H25: 重点●政策○	-	
H26施政方針	2. 人材育成・確保対策 (1)人材の育成					H26: 重点●政策○	-	
H27施政方針	該当無し					H27: 重点●政策○	-	
事業概要	一般の市民、佐渡市の将来を担う児童・学生およびその教育者にたいして環境問題を学ぶ機会や手段として環境学習用冊子を提供する。 生活、自然環境に興味を持つ人材を育成し将来にわたって佐渡の環境を守り、郷土を愛する人材を育成するため、多岐にわたる環境関連問題に対応可能な専門知識を有する環境アドバイザーの派遣を行う。							
対象	環境に興味がある市民、事業者、市民団体、NPO法人および佐渡市の将来を担う児童・生徒。その教育者等							
意図(対象をどのようにしたいか)	環境について学び、人と環境とのかかわりについて考えることで、持続可能な生活様式や経済システムの実現のために環境保全課に関する教育及び学習を推進する。							

Do

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	環境アドバイザー派遣数	回	14	10	11	15	15	15
算式	-							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名		H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性		重点細事業
	指標	目標(成果)指標名	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性		
1	環境教育・環境学習指導者養成事業		20	53		76	予算	維持	
	指標	参加者数	32	20	18	20	事業	拡充	
2	環境副読本配布事業		1,195	1,263		1,278	予算	減額	
	指標	配布数	1169	1200	1008	1000	事業	維持	
3	環境アドバイザー派遣事業		93	83		167	予算	維持	
	指標	派遣数	14	10	11	15	事業	維持	
4	こども環境学習推進モデル事業		200	244		250	予算	維持	
	指標	エコクラブ数	8	8	8	8	事業	維持	
5	こども環境学習会開催事業		6	11		206	予算	維持	
	指標	学習会参加数	41	40	17	40	事業	拡充	
6	市民環境大学運営事業(H25から他講座に統合)		52	14		69	予算	維持	
	指標	参加者数	127	70	97	70	事業	維持	
7	その他一般経費		101	10		10	予算	維持	
	指標	-	-	-	-	-	事業	維持	
事業費の合計(千円)			1,667	1,678		2,056			
財源内訳	国庫支出金		0	0		0			
	県支出金		0	0		0			
	地方債		0	0		0			
	その他		120	0		65			
	一般財源		1,547	1,678		1,991			

Check

◆事務事業を構成する細事業の評価◆

A: 適正である B: 検討の余地あり C: 見直しすべき

枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	環境教育・環境学習指導者養成事業	B	B	B	環境教育を行うためのリーダーを養成する事業であり、小中学校の教員向けに行っている本事業は一定の成果をあげている。地域活動の場面においても活躍できる環境教育の指導者養成も推進していく必要があるため、対象者の拡大を検討している。
2	環境副読本配布事業	B	B	A	本市の環境についての学習活動を推進するため、毎年、新小学4年、新中学1年に配布をしている。年間回数、授業で活用されていることは把握しているが、利用の実態をより的確に把握するため、アンケート調査を行うとともに、配布方法等について検討したい。
3	環境アドバイザー派遣事業	B	A	A	企業の研修活動や地域の勉強会等へ環境に関する専門家を講師として派遣することで、環境問題を考えるきっかけとなるよう、今後も周知を図り派遣する機会を増やしていく。

4	こども環境学習推進モデル事業	B	B	A	本事業により、こどもエコクラブ単位での環境学習の推進が図られている。三資産等に関する学習の推進、里山、里海などを中心とした生物多様性に関する学習など、本市の特徴となる事柄について、テーマ設定を行う。
5	こども環境学習会開催事業	B	B	A	市の単独事業として主に夏休み時期に小学生を中心に環境学習会を実施している。特に自然環境分野においては、小学生の時期、中学生の時期での連携した取組が必要である。興味を持ち続けられる学習内容について、検討を行い、学習会を開催する。
6	市民環境大学運営事業(H25から他講座に統合)	B	B	A	社会教育課の市民大学講座と統合した。今後も社会教育課と連携をとりながら事業を実施していきたい。
7	その他一般経費				

Action

◆今後の事務事業の方向性◆

評価(担当課長)	事業の方向性	維持	予算の方向性	減額
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)	<p>環境学習・環境教育について、他市等の先進事例を取り込み事務の改善を図り利用しやすい制度としたい。「環境学習を実施する場合に市が助成・協力をする事業」として1事業に整理することができれば周知や事務の効率化が図れるうえに利用者側からも使いやすい仕組みをつくることができる。</p> <p>このために現状の把握をした上で既存の制度の利用者と調整をし平成28年度から新しい取組の実施を目指す。</p>			